

2023 年日本（語文）関連分野大学院生合同研究発表会（20230420 更新）

- 一、日 時：台湾時間 2023年5月20日（土）9：00～18：00
 二、場 所：東呉大学 第一教學研究大樓
 三、主 催：東呉大学日本語文学科
 四、共 催：東呉大学外国語学院、東アジア地域發展研究センター
 五、助 成：日本台湾交流協会
 六、後 援：台湾日本語教育学会、台湾日本語文学会

09:30-09:40	開会式（普仁講堂） 開会の辞 羅濟立（東呉大学日本語文学科教授兼主任） 村嶋郁代（公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長）（打診中）			
09:40-10:30	基調講演 1	座 長：劉怡伶教授（東呉大学教授） 講 演 者：岩崎拓也先生（筑波大学助教） タイトル：日本語研究のはじめかた		
10:30-10:40	休 憩			
10:40-11:30	基調講演 2	座 長：王世和教授（東呉大学外国語文學院院長/東アジア地域發展研究センター主任） 講 演 者：葉東哲先生（国立臺中科技大学助理教授） タイトル：あなたの競争力は持続可能ですか—VUCA 時代に求められる人材像について—		
14:00-14:10	昼食時間			
12:30-14:00	A 会場（R0805 ドイツ文化教室）	B 会場（R0802 通訳教室）	C 会場（R0814 会議室）	D 会場（R1013 会議室）
	論文発表 1 座長：尾崎学（開南大学准教授）	論文発表 1 座長：劉怡伶（東呉大学教授）	論文発表 1 座長：堀越和男（淡江大学准教授）	論文発表 1 座長：富田哲（淡江大学准教授）
	A1 村中志帆（東呉大学修士課程） 中国語母語話者に向けた [Vスギル] 文の指導 について—「すぎる」と「太」の対応から考 える— 【コメンテーター】王蓓淳（開南大学准教授）	B1 黃竣偉（政治大学修士課程） 可能表現「(不) 可能ダ」における二格主語の 使用に関する一考察 【コメンテーター】陳昭心（台湾大学准教授）	C1 黃冠華（靜宜大学修士課程） 日本語学習者のシャドーイングに対する意 識—KJ 法を用いる分析— 【コメンテーター】薛芸如（元智大学助理教授）	D1 莊秉承（台湾大学修士課程） 佐藤春夫「殖民地の旅」におけるナショナ リズム—本島人を中心として— 【コメンテーター】富田哲（淡江大学准教授）
	A2 翁瑄穎（東呉大学修士課程） 聞き手情報非依存の疑問表現「～ダロウ(カ)」 の日中対照研究—「～呢」との置き換えを中 心に— 【コメンテーター】尾崎学（開南大学准教授）	B2 馬嘉翔（政治大学博士課程） 単文の処理における目的語の有生性による影 響—「ガ格」と「ヲ格」を取る二項動詞能動文 の場合— 【コメンテーター】劉怡伶（東呉大学教授）	C2 葉姿吟（東呉大学博士課程） 日本語教育における漢字語彙の学習に関す る意識調査—台湾人日本語学習者を対象に — 【コメンテーター】陳毓敏（中国文化大学准教授）	D2 林詩芸（靜宜大学修士課程） 日本統治時代の台湾文学における新感覚派 とモダニズムについて 【コメンテーター】張政傑（東呉大学助理教授）
A3 陳柔安（淡江大学修士課程） 借用語としての「卡哇伊」に関する一研究— 「台灣新聞智慧網」の使用例を中心に— 【コメンテーター】王秋陽（開南大学助理教授）	B3 程珮涵（東呉大学博士課程） 音韻と形態の変転から見る現代日本語動詞— 和語動詞を中心に— 【コメンテーター】葉秉杰（政治大学准教授）	C3 澤田尚美（東呉大学博士課程） 台湾で教える経験教師が持つ日本語教育観 について—「専門性の三位一体モデル」を用 いた分析— 【コメンテーター】堀越和男（淡江大学准教授）	D3 顏君霖（台湾大学修士課程） 旅日記からみる近世の蝦夷地—津軽海峡を 渡る冒険— 【コメンテーター】陳羿秀（靜宜大学助理教授）	
14:00-14:10	休 憩			

	A会場 (R0805 ドイツ文化教室)	B会場 (R0802 通訳教室)	C会場 (R0814 会議室)	D会場 (R1013 会議室)
	論文発表2 座長：陳文敏 (静宜大学准教授)	論文発表2 座長：許均瑞 (銘傳大学准教授)	論文発表2 座長：沈美雪 (中国文化大学准教授)	論文発表2 座長：阮文雅 (東呉大学准教授)
14:10-15:40	A4 徐翊庭 (東呉大学修士課程) 台湾における日本語ガイドを養成するための学習者意識調査—外来語を中心に— 【コメンテーター】 廖紋淑 (国立空中大学准教授)	B4 妹尾流夏 (東呉大学修士課程) 台湾人日本語学習者における学習者リソースの使用状況と新たな枠組みの提案 【コメンテーター】 陳姿菁 (開南大学准教授)	C4 楊颯羽 (東呉大学修士課程) エコクリティシズムで読む『トガリ山のぼうけん』—人間と自然、動物の関係を手がかりに— 【コメンテーター】 沈美雪 (中国文化大学学科准教授)	D4 陳彦華 (輔仁大学修士課程) 『百人一首』の白における藤原定家の美意識 【コメンテーター】 樋口達郎 (淡江大学助理教授)
	A5 梶佳奈子 (東呉大学修士課程) コーパスにおける「まじめ」の使用実態 【コメンテーター】 陳文敏 (静宜大学准教授)	B5 林菲比渚 (東呉大学修士課程) 台湾における日本語教育現場での自文化・他文化の説明能力の育成—S大学日本語文学科を事例として— 【コメンテーター】 許均瑞 (銘傳大学准教授)	C5 李筠鈞 (政治大学修士課程) 安房直子の童話研究—「遠い野ばらの村」における色彩表現を中心に— 【コメンテーター】 梁蘊嫻 (元智大学准教授)	D5 洪淑靖 (静宜大学修士課程) 台湾万葉集のバージョン差異—歌句数の消長— 【コメンテーター】 阮文雅 (東呉大学准教授)
	A6 温朝程 (静宜大学大学部) 「そんな」の使用実態—BCCWJに通して— 【コメンテーター】 喬曉筠 (政治大学助理教授)	B6 鄭玫綸 (銘傳大学修士課程) 翻訳授業における「情報テキスト」を導入する翻訳実践と効果—スコポス理論の立場から— 【コメンテーター】 黄佳慧 (輔仁大学助理教授)	C6 劉芷嫣 (銘傳大学修士課程) 「家」に抵抗する「自己実現」の様相—『篋：怪談競演奇物語』における「箸」から見る— 【コメンテーター】 林欣慧 (台湾大学准教授)	D6 倪靖崙 (輔仁大学修士課程) 『古事記』における鳥—ヤマトタケルが化した白智鳥を中心に— 【コメンテーター】 黄智暉 (東呉大学准教授)
15:40-15:50	休憩			
	論文発表3 座長：許夏珮 (東呉大学准教授)	論文発表3 座長：吳岳樺 (高雄餐旅大学准教授兼主任)	論文発表3 座長：坂元さおり (輔仁大学准教授)	論文発表3 座長：王佑心 (銘傳大学准教授)
15:50-17:20	A7 呂冠儀 (台湾大学修士課程) 「かわいい」の修飾対象に関する考察 【コメンテーター】 許夏珮 (東呉大学准教授)	B7 小西達也 (早稲田大学大学院博士課程) 日本語教育における「特別教室」の設置目的と利用実態の一考察 【コメンテーター】 中村香苗 (淡江大学准教授)	C7 李青青 (台湾大学修士課程) 多和田葉子『旅をする裸の眼』における二項対立—間テキスト性の分析を通して— 【コメンテーター】 坂元さおり (輔仁大学准教授)	D7 葉柏廷 (台湾大学修士課程) 大航海時代における日本人の海外進出—スペイン統治下のルソン島における日本人住民の考察を中心に— 【コメンテーター】 田世民 (台湾大学准教授)
	A8 林綾依 (台湾大学修士課程) タスク先行型ロールプレイと表現先行型ロールプレイの実践研究—完結表現の「テシマウ」を中心に— 【コメンテーター】 簡卉雯 (台湾海洋大学准教授)	B8 鄭雅庭 (静宜大学修士課程) 台日高齢者教育展開の比較 【コメンテーター】 吳岳樺 (高雄餐旅大学准教授)	C8 鍾宜錚 (台湾大学修士課程) 日本における現代葬儀の変容—新型コロナウイルスによる影響を中心に— 【コメンテーター】 黄馨儀 (中國文化大学准教授)	D8 廖品越 (台湾大学修士課程) 村上春樹『風の歌を聴け』『羊をめぐる冒険』論—「一般論」の王様と見失った存在理由 (レーゾン・デートゥル)— 【コメンテーター】 王佑心 (銘傳大学准教授)
	A9 PAK Olga Dmitrievna (筑波大学大学院博士課程) I-JAS コーパスにおける時間順序表現の考察—「前」・「後」を中心に— 【コメンテーター】 徐佩伶 (淡江大学准教授)	B9 永富菜穂美 (東呉大学博士課程) 読解授業における多角的な対話による知識構成の実践研究—台湾の成人日本語学習者を対象とした事例— 【コメンテーター】 李桂芳 (輔仁大学助理教授)	C9 福村佳美 (筑波大学大学院博士課程) 雪氷文化の気候変動適応における文書史料の役割—長野県諏訪地域の「御渡り帳」を例に— 【コメンテーター】 森安雅子 (真理大学准教授)	D9 渡邊絢夏 (筑波大学大学院博士課程) 『台湾婦人界』における表紙分析—田部蕉圃を中心に— 【コメンテーター】 頼衍宏 (静宜大学准教授)
17:20-17:40	閉幕式 (普仁講堂) 総評、表彰式			